

脳と心と体の整え方

発達障害対応のプリンシプル

統合的発達サポートシステムの視点から

アイデス・クリニック 院長 池田勝紀 2022年7月15日

発達障害とは？

発達障害対応のプリンシプル

発達障害とは、脳の発達や働きの偏りから発生する行動やコミュニケーションの障害



発達障害は、急激に増加し社会問題化: 児童の10%程度



脳の発達から見た発達障害

発達障害対応のプリンシプル

シナプスの構築
シナプスの刈り込み → 不具合から
軸索の髄鞘化



発達障害は多因子遺伝疾患

発達障害対応のプリンシプル



遺伝的因子

+



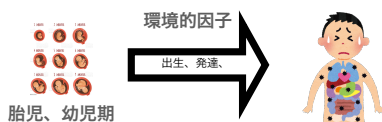
環境的因子

DOHaD理論

発達障害対応のプリンシプル

受精時, 胎芽期, 胎児期の子宮内及び乳幼児期の望ましくない環境がエピゲノム変化を起こし, それが疾病素因となり, 出生後の環境との相互作用によって疾病が発症する。生活習慣病等の多因子疾患はこの2段階を経て発症する。

日本DOHaD 研究会ホームページより一部引用



発達障害の原因も解明されつつある。

発達障害対応のプリンシプル

原因が解明されつつある。

原因を調べる検査も開発されつつある。

発達障害も制御の可能性が出てきた。

我々の目指すゴール
発達障害対応のプリンシプル



才能の発揮

社会的自立

ゴール達成に必要な3要素
発達障害対応のプリンシプル

Efficacy: 自己効力感

Self Esteame: 自己肯定感

Resilience: 回復力

Efficacy: 自己効力感
発達障害対応のプリンシプル

Efficacy: 自己効力感
ゴールを達成する自己能力の
自己評価
(自分はできるという思い)



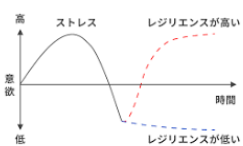
Self Esteame: 自己肯定感
発達障害対応のプリンシプル

Self Esteame: 自己肯定感
自分を受け入れる力
いいところも悪いところも
含めて自分を好きになる力



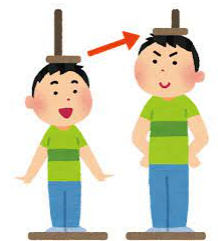
Resilience: 回復力
発達障害対応のプリンシプル

Resilience: 回復力
ストレスから回復する力



3要素を伸ばすには？
発達障害対応のプリンシプル

脳と心と体を整える:
脳と心身の発達を促す
ことが大切



脳の発達と働きを促す3原則 発達障害対応のプリンシプル

Protect: 防御

Detox: 除去 物質、情報の操作

Provide: 提供

Protect: 防御

発達障害対応のプリンシプル

脳の発達や働きに悪影響を与えるものからの防御

- 1、有害物質（農薬、有害重金属等）
- 2、薬剤(麻薬等)
- 3、過剰なストレス
- 4、虐待,Maltreatment
- 5、有害な情報 or Dream Killer

Detox: 除去

発達障害対応のプリンシプル

脳の発達や働きに悪影響を与えるものを除去

- 1、有害物質（農薬、有害重金属等）
- 2、過剰なストレス、トラウマ
- 3、誤認識、誤学習等

Provide: 提供

発達障害対応のプリンシプル

脳の発達や働きに良い影響を与えるものを与える

- 1、栄養（3大栄養素、ビタミン、ミネラル）
- 2、適度なストレス
- 3、成功体験
- 4、学習（必要な経験や技術の習得）

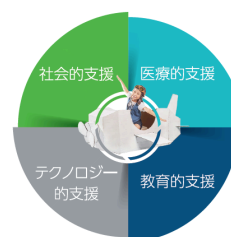
3要素と3原則

発達障害対応のプリンシプル

- ・ゴール達成のために3要素の向上が必須
- ・そのために3原則に則った支援が必要
- ・有効な支援を行うためアイデス：統合的発達サポートシステムを構築中

アイデスとは

発達障害対応のプリンシプル



発達障害のお子さんの発達を多方面のリソースを使い支援する仕組みであり、クリニック名の由来

アイデス（医療的支援）：実装中
発達障害対応のプリンシプル



心理行動療法
薬物療法
生化学的療法
その他

アイデス（教育的支援）：実装中
発達障害対応のプリンシプル



児童発達支援
放課後等デイサービス
学習支援（個別学習等）
支援学校、学級、通級
サポート校

アイデス（社会的支援）：準備中
発達障害対応のプリンシプル



就労支援
相談支援事業
信託業務(財政的支援)
後見人業務(法的支援)

アイデス（テクノロジー的支援）：準備中
発達障害対応のプリンシプル



読み上げ支援
入力支援
日常生活支援
感覚補助支援

まとめ
発達障害対応のプリンシプル

- ・発達障害対応のプリンシプルとして3要素と3原則がある。
- ・支援システムとしてアイデス構想。
- ・現在、様々な専門家との協力してアイデスを構築中。